

「何も得られなかったことが収穫」

橋本勝也選手（19）を知っていますか？ 橋本選手は「車いすラグビー」日本代表最年少選手です。中2から車いすラグビーを始め、日本代表ヘッドコーチのケビン・オアー氏にその才能を見出されてわずか2年で世界の舞台で活躍する選手になっています。

2018年、16歳の時に史上最年少で代表に選ばれ、世界選手権初優勝に貢献しました。その大会で、橋本選手は予選リーグの3試合に出場しましたが、金メダルをかけた決勝での出場機会はなく、コートで活躍したのはエースの池崎大輔選手やキャプテンの池透暢選手でした。世界レベルの2人に匹敵する力をつけなければチャンスはめぐってこないと考えることができ、「もっともっと練習しなければ世界には追いつけないと思えたので、逆に何も得られなかったことが収穫だったのかなと思いました。」と振り返っています。

橋本選手は、腕だけでなく腹筋や背筋も使って車いすをコントロールしています。大会後の練習では、さらなるレベルアップのため持ち前のバランス感覚に加え、車いすの操作に磨きをかけようと体幹も鍛えるようになりました。それは倒立で5メートルの距離を10往復するというものです。

『スラムダンク』の堂本監督の『負けたことがある』というのがいつか大きな財産になる」という言葉と橋本選手の努力が重なってきます。橋本選手にとって、優勝はしたが試合に出られなかったことは悔しく、そこから自分に足りないものを見出し、課題を明らかにすることができたのです。試合に出ていたら気づかなかったことに、試合に出られなかったことで気づけたことは正に「何も得られなかったことが収穫」であり、橋本選手にとって大きな財産となったことでしょう。

皆さんも、模試の得点や偏差値、順位、合否判定といった「表面的な結果」だけに一喜一憂せず自分の弱み・弱点を見つけ、苦手克服にチャレンジしていきましょう。（文責 堀）

『3年の窓』

夏を制する者は受験を制する！

いよいよ高校生最後の夏休みがやってきます。ボクシングの世界では「左を制する者は世界を制する」という有名な諺（？）がありますが、同じように受験の世界では「夏を制する者は受験を制する」といわれております。しかし、「夏を制するって言われても、そんなものどうやって制するの？」と、心中ツッコミを入れる人もいるでしょうが、ここでは、「夏休み及びその前後の期間の過ごし方が受験の勝敗を決定づけてしまう」という意味に捉えて下さい。それでは何故、そんなに夏が大切なのか解説いたしましょう。

まず、勉強の成果はすぐに表れません。早くても3カ月後、遅くても半年後くらいです。夏休みの3～6か月後、それは本番前の最後の模試の1カ月前～試験当日です。夏休みに猛勉強を始めれば、入試本番までにその成果が表れます、11月の時点で学習の成果が見え始めれば弱気になって志望校の再検討に右往左往することもなくなり、どっしり落ち着いて最後まで頑張り続けることが出来ます。反対に、秋口から勉強を頑張り始めた場合、入試本番にはまだその成果が表れない可能性があります。勝利を掴むための努力を始める最後のチャンス、それがこの夏です。

また、夏休みは多くの学校でオープンキャンパスがあったり、自宅にいる時間も増えて保護者と進路について話す機会を得やすい等、自身の夢や目標について改めて考え直したり知識理解を深める事ができます。

また、自分達で予定を立てて行動する機会も増えます。能動的な学習はモチベーションが高く保てるので学習効率も上がりますし、達成感が得られやすいためストレスも少なく長時間の学習が出来ます。

入試の過去問は1科目90分から120分かかるものも多く平日にはなかなか手が出し辛いですが、夏休みであればこれらの課題にも手を出せることが出来、その合間に気分転換も兼ね新聞や進路に関連した書籍を読めば、それがそのまま小論文や推薦入試の対策にもつながっていきます。

夏の大切さが理解出来ましたか？ では充実した夏休みを過ごして下さい。（文責 鈴木）

♪2年の窓♪

人生を変える0.1%の夏休み



有名なオンラインストレージサービス、Dropboxの創業者ドリー・ヒューストンがアメリカの名門マサチューセッツ工科大学（MIT）で行った講演の中に、「人生は30,000日」という言葉があります。人間が約80歳生きると仮定すると、日数換算で約30,000日になります。皆さんは約17年生きてきましたので、残り日数は、およそ23,800日です。残された人生の日数から、今年の夏休み33日の割合を求めるとおよそ0.1%になります。たかが0.1%と思うかもしれませんが、しかし、その0.1%が今後の人生に大きな影響を与えたとしたらどうでしょう？

皆さんが進路選びをするにあたって、情報を集めるよい機会ではないでしょうか？あるいは自分が苦手に行っている分野の対策をしたり、得意分野を伸ばしたりする貴重な機会ではないでしょうか？

「来年頑張ればいいや」「大人になったら本気出す」こういった考え方もあるでしょう。来年の夏休みは、目標とする学校に向けて本格的に受験勉強をする時期です。進路情報を集めている時間はあるでしょうか？大人になってからもう一度勉強したいと思っても、残念ながら多くの日本企業はリカレント教育に力を入れていません。社会人をやりながら十分な学習機会を確保できるでしょうか？

さて皆さん、たった0.1%頑張るだけで人生を変えられる機会があるとしたらどうしますか？

（文責：桑原篠）

♪1年の窓♪

さあ夏休みだ！

高校初めての夏休みです！どんな計画を立てていますか？中学のときとは違い、高校では補習や部活、文化祭の準備などで結構学校に来る人が多いですよ！だから、今までの夏休みよりも忙しくなるかもしれませんね。部活に文化祭に遊びに精を出すは結構！高1の夏休みは人生で一回きりですからね！ただし、勉強も忘れちゃだめですよ！

こんな話を知っていますか？普段みんなが目にするハチの巣の中には働きバチがいます。じつは、このハチのすべてが一生懸命に働いているわけではないって知っていましたか。

巣の中の働きバチの25%は一生懸命働いています。50%は普通に働いています。そして、残りの25%はサボっています。この「一生懸命：普通：サボリ」の割合が「25：50：25」になる関係を働きバチの法則というそうです。

さらに、この法則には続きがあります。サボリハチだけ集めて巣を作っても、今までサボっていたハチの中の25%は一生懸命働き始めます。つまり、また働きバチの法則が成り立つのです。そして、働きバチの法則は人間にも当てはまります。何が言いたいかわかりますね。

この学校には、さまざまな中学校からさまざまな生徒が集まっています。もちろん、この集団の中でも働きバチの法則は成り立っているはずですよ。では、みんなはどんなハチですか？

- ・ 勉強や部活などとにかく一生懸命なハチ。
- ・ 言われたことだけはこなす普通のハチ。
- ・ 勉強や提出物もなんにもしないサボリなハチ。



「あいつ、中学までは全然だったのに」なんて思っている人、違いますよ。中学までサボリなハチだったその子は今、多治見高校という集団のなかで一生懸命なハチになって、周りとの差をつけ始めているんです。さて、みんなは夏休みにはどんなハチになって活動しますか？

（文責：後藤）